

# 校長だより

福津市立福間東中学校  
校長 猪股 清貴  
平成 28年 7月 6日 No19

## 真剣に自分自身と向き合っています

### ～道徳の授業から～



毎週水曜日の4時間目は道徳の時間です。どの教室でも先生方が教材やプリント工夫した道徳の授業が行われています。

今回は3年生のクラスで行われた授業を紹介しましょう。資料はサッカー日本代表のキャプテンを務めた長谷部選手の文章です。プロになって間もない長谷部選手に初めて遠征試合に出るチャンスが訪れます。初めてのプロとしての試合を観てもらいたいと家族に連絡します。ところが、遠くから応援に駆け付け

た家族が見守る中、長谷部選手の出番は一度もないまま試合は終了します。バスで地元に戻る途中長谷部選手の胸には耐えがたい屈辱感が込み上げてきます。

さて、この後長谷部選手はどのようにして心を整えていったのでしょうか。学級の中では長谷部選手の気持ちになって様々な葛藤を共に体験していきます。いろいろな意見が出る中、祝迫先生からは「いろんな考え方があっていいんです」と温かい言葉がかけられます。最後に長



谷部選手は「当たり前のこと」に気づいていくのですが、どうして当たり前のこと気づくことができたのか。また、真剣に考えを深めていきます。そして、最後に自分自身のことを外側から冷静に見つめることができた時に初めて人は謙虚な気持ちになることができることに気づいていきます。きっと3年生の皆さんにもこんな経験をしたことがある人は多いのではないのでしょうか。

様々な心の葛藤を繰り返しながら、「そうか、そんな気持ちが大変なんだな。」「自分もそんな気持ちになれたことがあったぞ!」「自分もまんざらではないなあ。」「結構いいところあるじゃないか。」そんな気持ちになれるのが道徳の時間です。真剣に自分自身と向き合っている姿は本当に素晴らしいと思います。



